

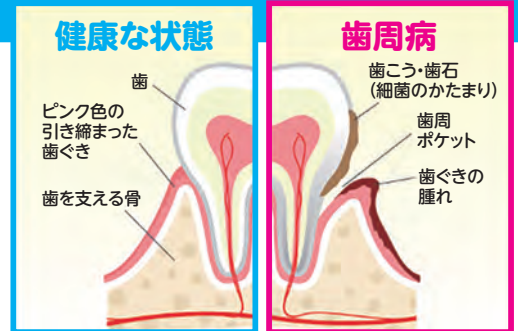


かかりつけの歯医者さん あなたはいますか？

全身の健康は歯周病予防から

歯周病 とは

歯と歯ぐきのすき間の「歯周ポケット」に入り込んだ歯こうに含まれる歯周病菌が、炎症を引き起こす病気です。「歯肉炎」と「歯周炎」の2つを合わせて「歯周病」といいます。むし歯を抑えて、歯を失う原因の第1位となっています。



歯肉炎

歯周病菌が歯ぐきだけに炎症を起こしている状態。



進行すると

歯周炎

歯周病菌が歯を支える骨を溶かしている状態。



進行すると

歯が抜ける等、全身にさまざまな影響を及ぼします。



歯を失くし始める人が多くなるのは40代から！

CHECK! 下記のような症状が多いほど、歯周病の可能性が高くなります。歯科医院で診てもらいましょう。

- 歯ぐきに赤く腫れた部分がある
- 歯をみがくと血が出る
- 口臭がなんとなく気になる
- 歯が浮いたような感じがする
- 歯ぐきがやせてきた
- 指で触ると、歯がグラつく
- 歯と歯の間にもものがつまりやすい
- 歯ぐきから膿が出たことがある



歯周病はお口だけの病気ではありません

歯周病は歯やお口の病気という印象がありますが、歯周病菌が出す毒素が血液に乗って、全身の病気にかかわってきます。

全身への影響

【誤嚥(ごえん)性肺炎】

むせて気管に入った唾液に含まれる歯周病菌などが肺に感染して起こる。

【胎児の低体重・早産】

妊婦さんが歯周病になると、炎症によって出てくる物質が胎盤に影響して、赤ちゃんが小さく生まれたり、早産のリスクが高まったりする。

【糖尿病】

糖尿病にかかっている方は免疫力が低いため、歯周病の炎症が続くとインスリンの働きを妨げる物質が増え、糖尿病を悪化させる。

【アルツハイマー型認知症】

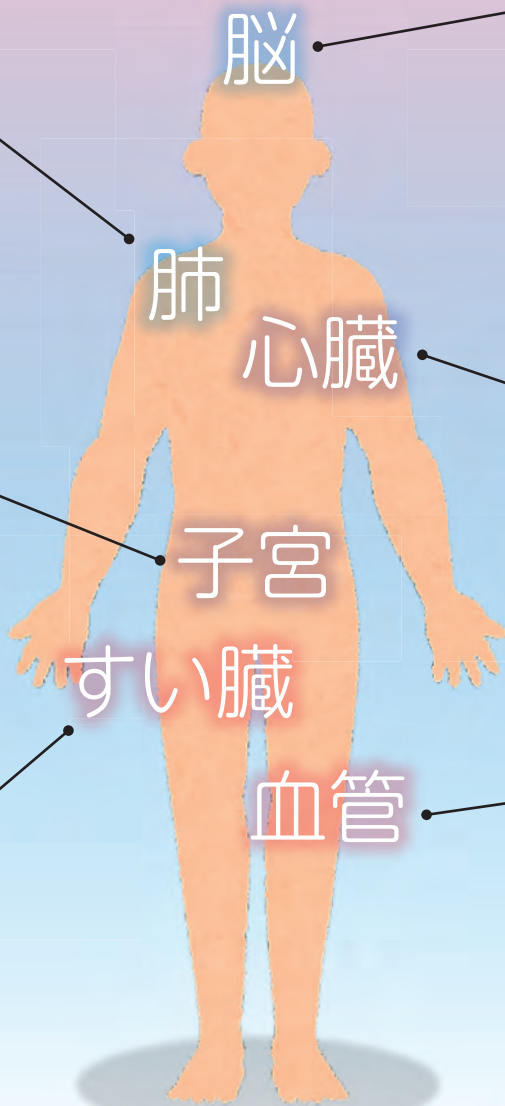
お口の中の不具合でよく噛むことができなくなると、学習能力にかかわる物質が減り、それが脳を縮める原因になる。

【心内膜炎】

血液中の歯周病菌が、心臓の内側の膜に感染し、増え、膿をつくる。その膿や塊がほかの血管に飛び、脳梗塞や心筋梗塞を引き起こすこともある。

【動脈硬化】

高血圧などにより動脈硬化を起こしている部分に、歯周病菌がくっつくと、血管をより狭くし、動脈硬化を悪化させる。



いそんな
影響が
あるんだね

